870HM1202

ソーワテクニカ

低温用ダクトファン　取扱説明書

組込工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に組み込んで下さい。組込工事は専門の機械器具メーカー様が実施してください。この製品は3相200V製品です。電源を確認してから組込工事を行ってください。なお、この製品は屋内用です。
組込工事終了後は、必ず組込機器側の説明書と共にこの説明書をお客様にお渡し下さい。ご使用の前には必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

仕様

形　名	羽根径(cm)	電源	公称出力(kW)	起動電流(A)	最大負荷電流(A)
DF-50RF50	50	3相　200V　50Hz	0.75	31.1	4.9
DF-50RF60	50	3相　200V　60Hz	0.75	28.3	5.8
DF-60RG50	60	3相　200V　50Hz	1.5	51.8	9.0
DF-60RG60	60	3相　200V　60Hz	1.5	46.0	12.0
DF-60RH60	60	3相　200V　60Hz	2.2	46.0	13.1

安全のために必ず守ること

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

記号	意味	記号	意味	記号	意味
	禁止		電源プラグを抜く		アース線接続
	接触禁止		水かけ禁止		
	分解禁止		指示に従い必ず行う		

警告　誤った取扱をしたとき、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

記号	内容
禁止	定格電圧、定格周波数以外では使用しない(火災、感電の原因)
	爆発性の粉じんやガスの発生する場所、または発生する恐れのある場所には取付けない(爆発や火災の原因)
接触禁止	運転中は危険ですから、羽根の中には指や物を入れない(けがの原因)
	羽根に触れる恐れのある時は保護ガードをつける(けがの原因)
	電源が入ったままで運転が停止しているときは、製品には絶対触れない (突然運転し始めてけがや感電の原因)
分解禁止	どんな場合でも改造はしない。分解・修理は修理技術者以外の人は行わない (火災・感電・けがの原因)
電源プラグを抜く	お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカを切ってから行う (感電やけがの原因)
水かけ禁止	製品は水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電の原因)
指示に従い必ず行う	配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行う (誤った配線工事は感電や火災の原因)
アース線接続	アースを確実に取付ける(故障や漏電のとき感電の原因)

注意　誤った取扱をしたとき、傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

記号	内容
禁止	直接炎があたる恐れのある場所に取付けない (火災の原因)
指示に従い必ず行う	本体の取付工事は十分強度のある所に確実に取付ける(落下によりけがの原因)
	羽根や部品の取付は確実に行う(落下によりけがの原因)
	羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃を行う。(振動により部品が破損して落下しけがの原因)
	長年の使用や環境が悪い場合は、腐食による落下や羽根破損によりけがの恐れがあります 定期的に点検を行い腐食の著しいものは取替えるようにする
	組込時および保守点検の際は手袋を着用して行う(けがの原因)
	羽根に氷や霜が多く付いたときには、必ず溶かしてから運転する(振動により部品がはずれて落下し、けがの原因)

お願い

形　名	静圧(Pa)
DF-50RF50	全閉
DF-50RF60	全閉
DF-60RG50	全閉
DF-60RG60	500
DF-60RH60	400

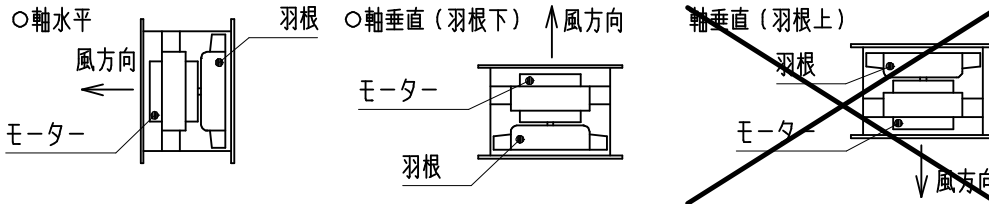
●次のような場所には組込まないでください。（故障の原因になります）

・30℃以上になる場所　　　　　・－50℃以下になる場所

・霜が付く場所（霜が付いた場合は取り除いてから使用して下さい）

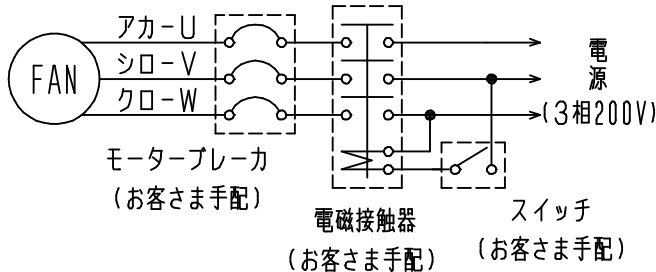
・右表以上の静圧のかかる場所

取付け姿勢

●取付け姿勢は下図のようにして下さい。

・軸水平から仰角90°（羽根下）の角度内で取付け可能です。
・風方向が吹き降ろす取付け姿勢（羽根上）は使用禁止です。

●ダクト部分に着霜、結氷を防ぐために凍結防止ヒーターを巻いて下さい。

電気工事

■結線例

結線例を参照して結線します。

●モータ焼損および、配線回路保護のため送風機1台ごとにモータブレーカなどの保護機器を使用する。（モータブレーカ等の設定にあたっては仕様の欄の最大負荷電流の1.2倍～1.5倍程度を参考にしてください）

●製品は電気設備技術基準に基づき、電気工事士によるD種接地工事（アース）を行う。

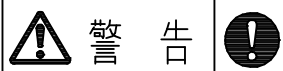
試運転

●組込み、電気工事終了後、必ず試運転を行い正常に運転できることを確認します。
1. 電源を入れても羽根が回転しなかったり、回転が遅かったり、逆回転している場合は、羽根が障害物に当たっていないか、結線が正しく行われているか確かめる。
2. 振動・異常音がないか、風漏れがないか確かめる。

電源コードについて・・・

電源コードは取付枠や天井にそわせて配線してください。
損傷すると漏電の原因になります。

保守点検

保守点検は専門の業者へ依頼する。

警　告		保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切ってから行う。 （感電やけがをすることがあります）

ボルト・ナットのゆるみの点検

製品および製品取付用のナット、ボルトのゆるみの点検を行ってください。

●組込工事終了後、運転開始初期はゆるむ可能性がありますので1週間後および1か月後を目安に点検してください。その後は年2～3回を目安に点検してください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申し付けください。

なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（取扱説明書同封の一覧表で当社またはお近くの三菱電機システムサービス）へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこのソーワテクニカ低温用ダクトファンの補修用性能部品を製造打切後最低7年間まで保有しています。

製造販売元　　株式会社　ソーワテクニカ

〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川中垣外1646-45 電話0573-78-0302

技術指導元　　三 菱 電 機 株 式 会 社